

ヒューマンライフケア 介護施設で野菜を育てる「水耕栽培プロジェクト」開始 ～地域とつながり創出目指す 植物工場研究を進める玉川大学が監修～

ヒューマンホールディングス株式会社の事業子会社で介護事業等を展開するヒューマンライフケア株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：瀬戸口信也、以下「当社」）は、介護施設において、屋内で野菜を育てる「水耕栽培プロジェクト」を始めます。利用者と介護スタッフが共に栽培・収穫した野菜を地域の人々に提供し、ご利用者と社会とのつながりを創出することで、社会への貢献と顧客満足度の向上を目指します。実施に当たっては、玉川大学の監修を受け、より取り組みやすい方法を推進する方針です。

【本件のポイント】

- ✓介護施設で野菜を育てる「水耕栽培プロジェクト」を開始
- ✓収穫した野菜を地域の人々に提供し「社会とのつながり」を創出、地域貢献と顧客満足度の向上を目指す
- ✓農業分野で先鋭的な研究を進める玉川大学監修の下、より取り組みやすい水耕栽培方法を進める

● 実施の背景

当社は、介護保険法の理念に掲げられている「個人の尊厳の保持」を目指した、質の高い介護サービスの提供を目指しています。そうした中で、利用者に社会的役割を提供し、ご利用者が「社会とつながる」ことを実現できるプログラムの研究を進めた結果、「水耕栽培」に着目しました。



● 実施の概要

「水耕栽培」は、土を使わずに、屋内で LED ライト、水、液体肥料のみで野菜を育てる栽培方法です。天候などの外的環境に左右されることがなく、無農薬で栽培することができます。また、種まきから収穫までの栽培行程が簡単なため、高齢者でも取り組みやすいのが特長です。

当社は、低コストで月に最大で 189 株収穫することができるオリジナルの水耕栽培キットを開発し、2019 年 2 月からトライアルとして、介護施設の一部において、小松菜や水菜などの水耕栽培に取り組んでいます。こうして自ら育てた野菜を地域の方々に提供することで、利用者が社会とつながる機会を創出し、地域貢献と顧客満足度の向上を目指します。

また近年、福祉分野と農業分野が連携した「農福連携」の取り組みにも注目が高まっています。こうしたことから、農業分野において先鋭的な研究を進める玉川大学の監修を受け、介護施設でより取り組みやすい方法の実現を進めていきます。

当社開発の水耕栽培キット。ラックにはヒノキの木材を使用▶



● 今後について

現在は、東京都、埼玉県、千葉県、大阪市の複数施設で取り組んでおり、今後は、当社が運営する全国の介護施設への導入を検討しています。介護と農業が協働した新たな取り組みを創出し展開することで、日本の介護、農業に対するイメージの向上を図り、介護における人材確保を目指します。

■ 「ヒューマンライフケア」とは

1999年の事業開始以来、全国180事業所（2019年4月1日現在/FC拠点含む）で幅広く介護サービスを展開し、介護事業におけるワンストップソリューションを実現しています。居宅介護支援、訪問介護、小規模多機能ホーム、有料老人ホーム、デイサービス、グループホームなど多岐にわたる介護サービス事業と子育て支援事業を、教育部門である「ヒューマンアカデミー」、人材サービス部門である「ヒューマンリソシア」「ヒューマンタッチ」をはじめとするヒューマングループ各社と強ちに連携しながら行っております。心に届く最高のサービスを目指し、一人ひとりのご利用者様に応じたサービスのご提供と、家族の皆様が笑顔で暮らせる環境づくりのお手伝いをしてまいります。

会社概要

ヒューマンライフケア株式会社 <https://human-lifecare.jp>

【代表者】代表取締役 瀬戸口 信也

【所在地】東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿プライムスクエア（旧・西新宿木村屋ビル）1階

【設立】2010年4月 ※介護事業開始：1999年 【資本金】1,000万円

本件に関するお問合せ・取材のお申込みは

ヒューマンホールディングス株式会社 広報担当：安永、外川

TEL：03-6846-8002 FAX：03-6846-1220 E-mail：kouhou@athuman.com